2026年5月27日

報道関係各位

GMOインターネットグループ株式会社
GMOインターネット株式会社

GMOインターネットグループ・GMOインターネット 人工知能学会全国大会にプレゼンティングスポンサーとして協賛

～AI研究コミュニティとの連携とAIロボティクスの社会実装を推進～

GMOインターネットグループ株式会社（代表取締役グループ代表：熊谷正寿）は、GMOインターネット株式会社（代表取締役 社長執行役員：伊藤 正 以下、GMOインターネット）とともに、2026年6月8日（月）から6月12日（金）まで、Gメッセ群馬およびオンラインで開催される「2026年度 人工知能学会全国大会（第40回） 以下、JSAI2026」に、プレゼンティングスポンサーとして協賛し、企業展示に出展します。

生成AIの普及やフィジカルAIの進展により、 AI研究の成果を社会や産業へ実装していく重要性が、これまで以上に高まっています。 日本発のAI研究・技術開発をさらに発展させていくためには、アカデミアと産業界が継続的に対話・連携し、研究成果の社会実装や次世代AI人財の育成につながる機会を広げていくことが重要です。

GMOインターネットグループは、今回の協賛・出展を通じて、AI研究コミュニティの発展に貢献するとともに、研究者・学生・企業の皆さまとの対話を深めてまいります。また、「GMO GPUクラウド」をはじめとするAI計算基盤の提供を通じて、AI・ロボティクスの社会実装に向けた取り組みをさらに推進します。

ブースイメージ

【協賛・出展の背景】

JSAI2026 は、研究者、学生に加え、研究者・学生・企業が集い、AI 技術に関する研究発表や議論、交流を行う国内最大級の学術イベントです。GMO インターネットグループは、JSAI2026 を、AI 研究の成果を社会実装へつなげる接点であると同時に、次世代の AI 人財や研究者との継続的な関係を築く重要な機会と位置付けています。

GMO インターネットグループでは、AI 研究・活用をグループ横断で推進しており、生成 AI 活用やフィジカル AI 領域への取り組みを強化しています。また、GMO インターネット株式会社が提供する高性能 GPU クラウドサービス「GMO GPU クラウド」は、企業・研究機関による LLM 開発やロボティクス研究など、最先端 AI 開発を支える計算基盤として活用されています。

今回の協賛・出展では、「GMO GPU クラウド」をはじめとする AI 計算基盤の紹介とともに、AI 研究コミュニティとの対話を通じて、AI・ロボティクスの社会実装に向けた産学連携をさらに推進してまいります。

【ブース出展の見どころ】

今回の出展では、「GMO GPU クラウド」をはじめとする AI 計算基盤の紹介とともに、フィジカル AI、ヒューマノイドロボティクス、セキュリティ、決済、EC・メディア領域での AI 活用など、GMO インターネットグループ各社の AI に関する取り組みを発信します。

また、JSAI2026 プログラム内の企業講演枠では、ヒューマノイドロボットのデモンストレーションを予定しています。加えて、インダストリアルセッションでは、GMO AI＆ロボティクス商事におけるフィジカル AI の事例として、ヒューマノイドの走行実現に向けた制御技術・環境認識・強化学習の技術課題と、それに対する取り組みをご紹介します。

●GMO インターネットグループエリアについて

ブースでは、会期中 5 日間にわたり、ステージで各種セッションを実施し、来場者が GMO インターネットグループの AI 活用を直接体感できる場をつくります。展示テーマは日替わりで設定し、ポスター展示もテーマに合わせて入れ替えます。

・展示テーマ

6 月 8 日（月）	EC・メディア
6 月 9 日（火）	フィジカル AI
6 月 10 日（水）	セキュリティ
6 月 11 日（木）	決済・金融
6 月 12 日（金）	フィジカル AI

さらに、研究者や登壇者と直接対話できるスペースも設け、研究発表の背景や実装上の課題、今後の展望について、来場者と深く議論できる場を提供します。

●「GMO GPU クラウド」エリアについて

AI 技術の急速な発展に伴い、AI 開発は大規模モデルの「学習」から、「推論（社会実装）」を意識したものに変化しつつあります。GMO インターネットが提供する高性能 GPU クラウドサービス「GMO GPU クラウド」が、社会実装を見据えた AI 学習・研究にどのように活用されているのか、具体的な事例とともにご紹介します。

また、エンジニアによる技術解説やベンチマーク数値の公開、基盤構築・インフラ運用ノウハウなど、リアルな実態をお届けします。さらに、6 月 10 日（水）12:50 より「GMO GPU クラウド」の大規模運用により完全自動運転の実現を目指すチューリング株式会社 執行役員兼 CTO 山口祐氏を招いたランチスピーカーセッションを予定しています。

・ランチスピーカーセッション概要

日程	6 月 10 日（水） 12:50 ～ 13:40
会場	G メッセ群馬　D 会場（展示ホール AB 内）
スピーカー	チューリング株式会社　執行役員兼 CTO 山口祐氏 GMO インターネット株式会社 システム本部 エグゼクティブリード 大川 将史
タイトル	チューリングが目指す完全自動運転の世界と、 それを支える計算基盤 "GMO GPU クラウド" の強みとは？

【研究発表について】

GMO インターネットグループ各社のパートナー（従業員）による AI 応用、フィジカル AI、強化学習、視覚言語モデルなどに関する研究発表を行う予定です。現時点で予定している主な発表は以下の通りです。

発表日時・会場	発表内容	発表者
6 月 9 日（火） **10:00～10:15** **中会議室 302B**	**「適応的スパムフィルタのための** **軽量な類似メッセージカウンタ」** AI 応用・言語処理応用と評価に関する発表です。未知のスパムに逐次対応するため、低遅延・省メモリで類似メッセージを検出する手法を紹介します。	**三宅 悠介** GMO ペパボ株式会社 シニア・プリンシパルエンジニア **栗林 健太郎** GMO ペパボ株式会社 取締役 CTO
6 月 9 日（火） **14:15～14:30** **G 会場** **（メインホール A）**	**「VLA モデルにおけるカメラ配置が** **タスク成功率に与える影響の定量的評価」** フィジカル AI・Vision-Language-Action モデルに関する発表です。ロボットのタスク成功率向上に向け、固定カメラや手先カメラの配置が与える影響を定量的に評価します。	**常盤 晟、真次 彰平、** **高橋 勇哉、新里 祐教** GMO インターネットグループ株式会社

6 月 11 日（木） **9:45～10:00** **中会議室 202A**	**「遷移統計グラフを用いたモーション遷移の効率的な学習と運用」** ヒューマノイドロボットの学習・制御に関する発表です。複数のモーション間を安全かつ効率的に遷移させるための学習手法と運用方法を紹介します。	**真次　彰平、常盤晟、高橋 勇哉** GMO インターネットグループ株式会社

GMO インターネットグループは、プレゼンティングスポンサーとして協賛するだけでなく、研究成果の発信者としても本大会に臨みます。研究と事業、開発と運用、AI 基盤とフィジカル AI をまたいで、グループの現在地を広く発信していきます。

以上

【報道関係お問い合わせ先】
●GMO インターネット株式会社
広報担当 福井
TEL：03-5728-7900
お問い合わせ： https://internet.gmo/contact/press/

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部　PR チーム　田部井
TEL：03-5456-2695
お問い合わせ：https://group.gmo/contact/press-inquiries/

【GMO インターネット株式会社】（URL：https://internet.gmo/）

会　社　名	GMO インターネット株式会社　（東証プライム市場 証券コード：4784）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売（レジストラ）事業 クラウド・レンタルサーバー（ホスティング）事業 インターネット接続（プロバイダー）事業 ■インターネット広告・メディア事業
資　本　金	5 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：https://group.gmo/）

会　社　名	GMO インターネットグループ株式会社　（東証プライム　証券コード：9449）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役グループ代表　熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■インターネットインフラ事業 ■インターネットセキュリティ事業

	■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資　本　金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Internet group, Inc. All Rights. Reserved.